

「点字ブロック」は

視覚障がい者の命綱

歩道に設置されている四角い黄色いサイン、「点字ブロック」をご存じですか。このブロック、正確には「視覚障害者誘導用ブロック」といいます。視力が無かったり、視力が低下している人が安全に移動するために、主に段差や傾斜の警告を行うために敷設されています。横断歩道、歩道橋、階段などのほか、多くの人が利用する施設にも設置されています。

意味の違う2種類のブロック

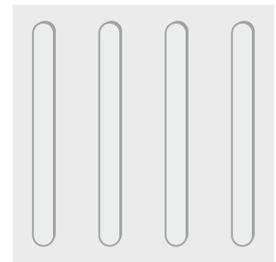
ブロックには突起があり、視覚障がい者はこの突起を足の裏や白杖で確認しながら進みます。

街で見かけるブロックには次の2種類があります。

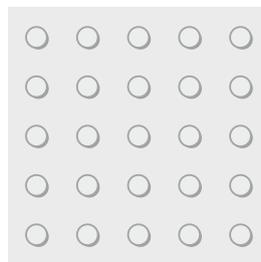
▽誘導ブロック(線状ブロック)

突起の線の方向へ進行方向を示すブロックです。

▽警告ブロック(点状ブロック)



誘導ブロック
(線状ブロック)



警告ブロック
(点状ブロック)

危険箇所などを示すブロックです。

点字ブロックの上には物を置かないで

視覚障がい者は、点字ブロックを頼りに歩行しています。このため、点字ブロックの上やその周囲に障害物があると大変危険です。

点字ブロックの上に駐車しない、

自転車や看板、荷物などを置かないようにしましょう。
安全な移動のために皆さんのご協力をお願いします。



困っているときは声掛けを
視覚障がい者が、白杖(はくじょう)を頭上に掲げている時は、困っている時のサインです。「お手伝いできることはありませんか?」と優しく声をかけましょう。



市内針摺と県立福岡高等視覚特別支援学校・福岡視覚特別支援学校の間、歩道に設置されている点字ブロック。